

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年12月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4699200020
法人名	有限会社ソフィア・インター・ナショナル
事業所名	グループホーム ゆいの家
所在地	鹿児島県大島郡天城町大字岡前1380番地2 電話 (0997) 85-6006
自己評価作成日	平成25年11月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ご家族や医療機関との連携で利用者様の終の住家となるように努めています。(終末期ケアを実施しました)
- 基本的な生活習慣の維持(できる事を増やします)
- 排せつや睡眠、清潔、心のケア等自宅での生活に近づけるようにしています。
- 認知症を理解し、優しく、敬語や時には方言で対応し、穏やかな日々が送れるように援助しています。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年11月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・サトウキビ畑が広がる集落内にある落ち着いたあるホームで、地域の情報や話題を共有しながら、楽しく過ごしている。
- ・理念を実践するために、職員は利用者に寄り添い、入居者の要望に応える家族的なサービスが行われている。
- ・看取りや終末期ケアに積極的に取り組み、本人や家族の意向を尊重した支援がされている。
- ・職員と利用者は地域生活の中でも顔馴染みで、利用者は安心して日々を過ごしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は入居者や職員も共有し実践できるもので、これからも心穏やかな生活が継続できるように皆が努力しています。	「自分らしく、いきいきと」との理念は、開設時に職員全員で考えて作ったもので、利用者がその人らしく自由な時間を尊重し、本人の意向や状態に寄り添ったケアを行うように、共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	天城町のみ認可であり、町内のトライアスロンや敬老会などにホームとして参加し、町民の一員として交流しています。	地域行事に積極的に参加し、地域住民が気軽に立ち寄り利用者と一緒にお茶を飲んで楽しんでいる。老人クラブの慰問や中学生の体験学習・ボランティア活動に訪れたりして、地域交流が活発に図れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	グループホームとして中学校の体験学習や障害者体験事業、介護未経験体験事業などに取り組み、町の開催する認知症家族会への参加もしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議でのご家族や委員のご意見を職員へも報告し、ホームの改善や行事などを行っています。	定期的に運営会議を開催し、防災訓練の反省で、ハンドマイクを購入した。会議で出た意見について可能な場合は即対応するなど、ホームの運営改善やサービス向上に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市町村担当者や地域包括との連携を取り、疑問点やホームとして判断に迷うことなど相談しています。	毎月役場を訪問し、必要な手続きや報告・相談を行なっている。また、役場からも情報を聞く等、連携や協力関係が取れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員が身体拘束について理解し、ホーム内外での散歩やベント柵等、身体拘束へつながる行為がないようにしています。	身体拘束マニュアルを職員全員で研修を行い実施している。玄関の鍵は施錠をせずに、外出希望の利用者には一緒に出かけたり、安全に帰所できるように見守りをしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に努めて、入居者個人とそりの合わない、職員の他ホームへの移動などで対応、精神的虐待などがないように努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護事業学習会への参加は管理者が数年前にあるが、今後機会をみて、職員の参加ができるようにしていきたいと思えます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時の説明を管理者、作成担当者が利用者様、ご家族へ行い納得のいく契約としています。解約時は法人全体として退去後の受け入れ先を紹介、対応しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>管理者は利用者、ご家族、職員の意見や要望を家族会や各行事への参加機会時などに伺い、ホームの運営に生かすことができるように努力しています。</p>	<p>利用者とは日々のふれあいの中で思いを聞いている。家族の面会時やクリスマス会などのホーム行事の際に一緒にお茶を飲みながら懇談し、意見や要望を聞くように努めている。家族から寄せられた意見や要望には職員で情報共有し、改善できるように取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の職員会議や日常の業務の中で職員の意見や提案を受け、即時に対応できるように努めています。</p>	<p>定例の職員会議や日々のミーティングで、職員の意見や提案を聞いている。買い物等の提案があり、役割分担や業務見直しなど対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>給与UP等を行っています。各職員がやりがいを持ち、働けるよう最大限の努力をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の有給や公休などは本人の要望に基づき、勤務割を作成し精神的、肉体的不満解消につとめています。ユニット間の職員移動などで認知症ケアの力量が改善できるよう、取り組んでいます、また各研修や資格習得支援をしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グルーホーム連絡協議会への入会で大島郡各ホームとの連携を取り勉強会や講演などへの参加をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時には本人とご家族との面談、主治医との連携（主治医を変更しない）でホーム入居への不安感の解消や困難なことへの対応を心がけています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時より、ご家族と話し合う機会を作り、遠慮なくご意見や要望が言える環境づくりをしています。また、体験入居も実施しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居申し込み時に医療的ニーズへの対応を相談し、主治医を変更しない、訪問看護の導入等必要に応じて行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活の中でできる事が増やせるように食事の下ごしらえ、下膳や居室の片づけなど支援し、良い関係が築けるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	各行事や、遠足などの機会にご家族への案内し、ともに参加できるようにしています。外泊時の送迎をホームで行い、いつでも外泊ができるように援助しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や親せき、友人が近隣の方々の面会などで関係が保たれるように援助し、また、各行事などの写真をご家族へ提供しています。	利用者の友人が訪ねてきたり、馴染みの美容師がカットに来てもらっている。自宅で家族と過せるように送迎したり、墓参りなどの要望にも対応し、これまでの関係や地域とつながりが継続できるように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者の様子を把握し、テーブル席替えや居室の変更をご家族の同意のもとで行い、良い関係が保てるようにしています。レクリエーションへの参加を呼び掛け希望者全員が参加できるようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族への対応をホームのみならず、会社全体としてとらえ、相談や依頼ごとへできる限り対応できる体制が整っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>食事時間やメニューの変更など入居者の担当職員を決めて、本人が満足できるケアを心がけています。</p>	<p>日常生活の中で、体調や気分を観察しながら、本人の意向の把握に努め、要望については対応している。意思疎通が困難な場合は、家族と話し合ったり、寄り添い、様子を見ながら思いを把握している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>天城町のみ指定であり、職員も町内在住者であるため、ほとんどが顔見知りです。また、入居時に居宅のケアマネや各機関の情報提供を受け把握に努めています。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>毎日の健康観察や職員間の申送り、Drよりの申送りで入居者の心身状態の把握に努めています。また、必要に応じてバイタル確認回数を増やすなど対応しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご家族やサービス担当者職員の意見や申送り、話あいでの情報を共有しモニタリング、介護計画を作成しています。</p>	<p>入居時に本人や家族より要望を聞き、介護計画を作成している。日々の申し送りや記録により利用者の情報、職員間で気付いた事や上手くいったケアについては報告し合い、ケアプランに反映できるようにしている。モニタリングは必要時に随時実施している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>入居者個々に提供記録を作成し、毎日の申送りなどで情報の共有を行い、実践に移しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>主治医を変更しない（現在 5医療機関）で対応、また歯医者や自宅への訪問、外泊などに取り組んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事への参加や訪問美容等地域の中で生活が維持できるように努めています。また、運動会など行事への地域住民の参加も呼びかけています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医をホーム入居時に変更しないで継続して医療との連携が取れるようにしています。(現在 五 医療機関) また異常時の受診などホームで支援できる体制をとっています。	利用者のこれまでのかかりつけ医の受診を支援している。訪問看護とも連携を図りながら、必要な医療が安心して継続できるように支援している。家族へ通院支援の協力もしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問診療や訪問看護などに医療的な相談を行い、アドバイスを頂き日々のケアにいかしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	各医療機関の相談員や当会社役員との連携で情報交換や相談に対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ターミナルケアの実施、医療機関や訪問看護との支援を受けながらホームで取り組みました。現在も対象者がおり、ご家族や医療機関の援助でホームでの日々が過ごせています。</p>	<p>重度化した場合の対応に係る指針があり、看取り介護について家族の同意があれば対応できるようにしている。家族の要望により、看取りをしている。看取りと癌末期のターミナルケアの実績がある。利用者の終の住家となるように努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急講習会への参加や急変時対応マニュアルで緊急時へ備えています。また 台風常襲地帯であり、台風時には夜勤者の他に宿直体制（管理者、責任者 職員（2名）で災害対応しています。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練や三か町合同地震、津波訓練などへの参加、また地域住民への避難場所の提供を町や地域区長へ申し出ています。</p>	<p>スプリンクラーが設置済みで、基準より多く消火器もある。合同の避難訓練を実施し、避難施設としても対応している。台風シーズン時は食料品や水の備蓄を行ない、発電機も購入して災害対策に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者と職員はお互いに同じ町内でなじみの関係ではあるがお互いに敬語の使用を心がけ、入居者への尊敬の念を表現できるよう心がけています。	お互いに馴れ合いにならないように丁寧な言葉使いを心がけ、方言で会話する場合も敬い言葉で対応している。また、排泄の失敗はさりげなく後始末を行ない、入浴も個浴を行う等、利用者の尊厳に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常的には敬語の使用を心がけていますが時々、方言での会話で利用者様の思いが私たち職員に届くようにいたしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な日常の流れはありますが、ご本人の希望や体調に合わせたケアを実践できるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の好みの髪形や衣類など個性あるおしゃれが楽しめています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>島の魚や野菜等の提供、旬の食材や献立の提供（正月の豚足料理等）や献立を作り提供しています。又、米は農家より精米したてを送っていただき消費しています。</p>	<p>地元の旬の野菜や食材を使い、季節や行事に合わせた献立を利用者の要望にも応えて、提供している。地域で採れるツワヤアザミなどの下処理を一緒にして佃煮を作ったり、野菜の皮むきや下ごしらえなども行っている。地域の子どもたちと一緒に庭でバーベキューをしたり、弁当を作って食べたりして、食事が楽しめるように工夫している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>1回の食事量が少ない利用者様へは十分な栄養補給ができるように食事の間におにぎり等を提供しています。主食や副菜を好みの形態で提供し食事摂取量も毎回把握し記録しています。水分量も確実に確保できる体制となっています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後に声掛け、誘導で利用者様に合わせたケアを行っています。必要に応じて歯科受診を援助しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	紙パンツの使用でトイレやPトイレでの排せつができるように声掛け、誘導を個々の排せつリズムに合わせて行っています。	排泄チェック表で確認しながら、適時に声かけ誘導してトイレでの排泄を支援している。入居時にオムツ使用をしていた利用者がトイレで排泄できるようになった自立支援の例もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	サツマイモや食物繊維の多い食べ物の提供、日常生活での運動や体操等で対応。また、便秘薬の服用もDrの指示により支援しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日はおおよそ決めています。が、個々の体調や状態によりいつでも入浴できる支援体制ができています。	A・B棟で曜日を変えて週3回の入浴日があるが、利用者の要望や体調に合わせて入浴日以外でも別棟で入浴できるように、協力体制ができています。利用者に合わせて湯の温度設定をしたり、浴槽にゆったりと入ったり、入浴日以外の日の入浴も対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度や光線の管理で気持ち良く安眠できるように工夫していますが昼寝ができるようにタミ台やソファをリビングに配置しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書をファイルにしてあり、個々の服薬の内容を職員が理解して手渡し、服用確認をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中での楽しみはもちろんですが、行事（七夕、トライアスロン応援等）への準備も入居者様とともにしています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	自宅訪問や墓参り、散歩等、個々にホーム外へ車や徒歩で職員が寄り添い行っています。また遠足など集団での行動も行っています。	日常的には近隣の散歩や買い物に一緒に行ったり、本人の要望に沿って外出支援したりしている。また、地域行事の参加やホームでの遠足など、戸外に出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人で管理できる方はこずかいを所持していますが使う機会がないため今後、お買い物の機会づくりができるように努めます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	町内専用電話回線で電話できる体制が整っています。また個人で携帯電話を所持され、ご家族との連絡を取られている方もいらっしゃいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにタタミ台やソファの設置で使いやすく工夫し、温度管理や光量への気配りで過ごしやすい環境づくりを行っています。また、グッピーを飼育したり、観葉植物などで心地よく過ごせるようにしています。	共用空間は明るく清潔であり、採光や温度管理に配慮している。合同運動会の写真が展示してある。利用者が物や色が溢れて混乱しないよう装飾は最低限に留め、全体的にスッキリした安全な環境を工夫している。ソファや畳の間があり、食後に好きな場所でゆったりと過ごしている様子が伺える。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングに配置されたソファやタタミ台で個々の好きな居場所できつろげるように配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>思い思いの家具や写真、仏壇等居室が住み慣れた自宅となるように配慮しています。</p>	<p>家族に利用者の馴染みの家具や大事にしている物を持参してもらい、仏壇やテレビ・座椅子・タンス・ソファー・写真などを持込み、本人が居心地よく過せるように支援している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の身体機能に応じたベットや移動用具の使用をしています。また室内や玄関などにスロープが設置されており安全に移動できるようになっています。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない